日本とUNDP、レアメタル・レアアース鉱物の持続可能なバリューチェーン構築に向けたイニシアティブを開始

１０月３０日、アスタナ市において、飯島大使とヴァヴィエルニヤ UNDP カザフスタン代表との間で、供与額４．８６億円の無償資金協力「環境対策を通じた持続可能なレアメタル・レアアース鉱物バリューチェーンの構築計画（UNDP 連携）」に関する協力文書の署名・交換が行われました。

本プロジェクトでは、国際基準に沿った鉱物資源開発に関する法制度・政策の整備支援や、環境モニタリング及びデジタルデータ管理システムのパイロット事業を実施し、鉱山開発に伴う環境負荷の低減を目指します。

本協力は、昨年 12 月の「中央アジア＋日本」対話・首脳会合の東京宣言で掲げられた「グリーン・強靱化」を具体化するものであり、日本とカザフスタンの鉱物資源分野での協力強化や、重要鉱物の供給源多角化にも貢献することが期待されます。



